

ただし、大きな毒素を抜く代償として、体に必要なたんぱく質の一つであるアルブミン(ALB)もある程度抜けてしまいます。HDF 治療ではアルブミンの犠牲が避けられないため、治療を行う患者様には十分なタンパク摂取が必要になります。

「HDF の種類～オンライン HDF とオフライン HDF の違いは？」

血液透析ろ過(HDF)の中には、補液方法の違いによりオフライン HDF とオンライン HDF という方法に分けられます。オフライン HDF は、補液バックに入った薬剤を補充液として使用するため、ろ過するために加えられる補充液量はスペース的に少なくなります。オンライン HDF は、透析液をそのまま補充液として使用するため、ろ過するために加えられる補充液量が多く獲れるようになります。そのため、オンライン HDF のほうがより多くのろ過をかけることができ、より多くの大きな老廃物を取り除くことが可能となります。

通常オフライン HDF の補液量は 12L、オンライン HDF の補液量は 60L で行っています。その差は、約 5 倍程度みられます。ここで気になる HDF で加えられる補液ですが、ダイアライザーより手前で加えられ、ダイアライザー内で補液した量と同量のろ過を HDF 専用装置で行っています。そのため、補液された量が余分に体の中に入ることはありませんのでご安心ください。

また、オンライン HDF では、透析液を補充液に使用するため、嚴重な透析液の水質管理が求められます。特に透析液の生物的汚染の原因として、生きたバイキンやバイキンの出す毒素であるエンドトキシンという物質が影響をあたえます。そのため、オンライン HDF を行うために、バイキン自体やエンドトキシンを測定感度以下になるまで清浄化しております。

